

# 熱班H19年度研究計画(山野)

## 平成19年度の研究計画

### 台湾での調査(2回目)6月(2名)

台北地域での孔井内温度分布計測(再計測、新しい孔井)

他の地域での孔井内温度計測(北部～中西部)

地下水モニタリング用孔井(地震予知)を利用

長期温度記録計のデータ回収と再設置

台湾側で調査を継続する体制の整備

### バンコクでの調査(2回目)8月?2名

長期温度記録計のデータ回収と再設置

現地グループが孔井内温度分布計測を行う体制の確立

データの収集(孔井周囲の地層、物性の測定値など)

### ジャカルタでの調査(2回目)11月・1名

長期温度記録計のデータ回収と再設置

データの収集(孔井周囲の地層、物性の測定値など)

### 国内(東京周辺地域)での調査

孔井内温度分布の再計測(数年以上前の測定との比較)

長期温度計測の開始(水温計、サーミスタ・チェーン)

## データ解析

### 地表面温度変動の復元

バンコク、ジャカルタ、ソウル(KIGAM保有のデータを利用)

### 気温データを制約条件とした解析

### 温度変動の浸透過程の解析

### 東京周辺の孔井

# 熱班・中間評価までのまとめ

平成19年度までの成果の見込み

(1) 地表面温度変動の復元(1次元)

・バンコク、ジャカルタ

都心部と郊外における温度上昇の比較(上昇率、上昇の開始時期)

・韓国、台湾

ソウル・台北と他都市における温度上昇の比較

(2) 地下温度上昇の実証

・東京周辺地域

数年以上をおいて計測した温度プロファイルの比較による

# 熱班最終プロダクトにむけて

- 最終プロダクトに向けてIASPEI・IHFCの国際シンポ(40名規模)を2009年(10月?)に開催し、特集号を作る。
- 大阪 岡山理科大・北岡さん  
マニラ Fernandoの学生に測定依頼
- 最終プロダクトでは1次元だけではなく、2次元の地表面温度復元・モデル化を行う。(江原・玄地)